

災害復旧工事のようす 12/15撮影

広報いわたき

岩滝公民館横の谷



雪が降る前に復旧工事の様子を撮影してきました。
かなり工事が進んでいます。未だに手つかずのところも見受けられました。一度工事完了しても今年のお盆頃の大雨でまた崩れたところもありました。今回はとくに規模の大きな工事個所について紹介します。
岩滝公民館横の谷の上部は大山土木によりかなり工事が進み、

●発行者●

岩滝まちづくり協議会

TEL 77-9877

FAX 77-9409

メール

iwataki@hidatakayama.ne.jp



岩滝建設による高さ10mの大きな谷止めは既に完成しています。(緑色部分)

最下部の大きな谷止めを大山土木が工事中(赤色部分)



針金の枠に石を詰め、壱堤がいくつもでき、中央は水路が通り、上写真のように土壌を押し上げて上から覆って縞模様のように見える整地がされています。よく見ると緑色の苗木が何本も植えてあり、やがて大きく育って山林になることでしょう。
今は一番下の大きな谷止めを作るために岩盤を深く掘る工事が進んでいます。
市の生涯学習課によると、工事完了は来年3月なので、4月から岩滝公民館を利用できるようにする予定だそうです。



大尾根団地最上部の土砂崩れ

牧野道路を上って行った一番上のところです。

上のハウレンソウ畑へ上る道路が50mほどにわたって崩落した現場。赤土を盛って造成した場所のようです。ずっと下まで土砂が崩れ落ちています。復旧までまだかかりそうです。



棚田

棚田の土砂崩れ現場は未だ手つかずの状態、ブルーシートがかけてあります。



写真右上から棚田にそそぐ谷川には、中家組により下写真のような大きな谷止め工事が完成しました。



根方 西垣内宅下の土砂崩れ



ふだんは目立たない小さな谷ですが、豪雨時には大量の水が流れ下ります。このような「土石流危険渓流」と看板の出ている谷が岩滝にはたくさんあります。岩滝公民館横の谷もそうでした。

看板を立てるだけでなく、今回の教訓をもとに谷止め工事を前もってしておくことが大事なのではないでしょうか。

また、上を用水が通っていて、それがつまったりすると水があふれて土砂崩れの引き金になります。

用水や側溝に物がつまらないよう、とくに大雨前の点検が必要です。

生井川（橋戸宅下手）

護岸工事が進んでいます。春になると、下流の鮎漁の妨げになるので川に濁りの入る工事はできなくなります。



生井川（岩滝荘下から数河にかけて）



豪雨による大水で護岸が長い距離にわたって崩落した現場の護岸工事が進んでいます。

ここは最初に川へ落ちた1本の朴の木に流木が次々と引っかかって川を堰き止めたために、川の水が田畑へあふれ、田んぼが土砂で埋まったり、川の形がすっかり変わってしまうくらいの被害となりました。

田畑を復旧する工事もあり、まだしばらく工事が続くことになりそうです。

まち協花壇 市の銀賞に

来年は
金賞を目指します。



賞状

銀賞

若滝まちづくり協議会様

あなたは令和三年度

フラワーコンクールにおいて

頭書の成績を収められましたので

これを賞します

令和三年十一月十九日

高山市民生活推進協議会

会長 梶井正美

花いっぱい企画推進委員会

委員長 一本木 國昭

まち協組織見直し案に ご意見をお願いします

まち協の重点に「組織の見直し」をあげています。そこで、役員会で検討を重ね、別紙のような「2年間と期間を定めて重点をしばって取り組む組織」ということを考えました。

事業には何度も協議しなければならないものと、あまり協議しなくても事務処理的に進められるものがあります。容易に進められるものは本部に任せ、協議や準備などが必要になることは部会で検討を重ねるというもので、役員・部員も少なくできます。ぜひ皆様のご意見を役員までお聞かせください。



12/5 木樵映画会

3回の上演に参加84名。内訳は小中高生が9名、一般が75名。

木樵という仕事に打ち込んでみえる姿からたくさん学ばせていただきました。→



桶岩にしめ縄飾りつけ

11/28



皆様よいお年を
お迎えください

